

“令和七年度 門信徒会 年次総会開催”

— 現役員の最終年度となります —



「親鸞聖人ゆかりの上越の地」：上越市高田城址公園の蓮 (6.7.28 撮影)



発行所
岡谷市郷田一丁目6番3号
TEL(0266)22-2524
金松山 敬念寺
発行
敬念寺門信徒会
編集
会報組織委員会

朝7時はみ仏さまや
彼(か)の人との
出会(であ)いの時間

小僧の目

宗派の御同朋の社会をめざす運動(実践運動)の総合基本計画には「現代社会は、人と人との関わり合いが希薄になり、人々は様々な価値の違いを認めることができず、互いに対立し時に傷付けあっています。現代の苦悩とともに背負っていくには、変化の早い時代を生きる者として、変わることのないみ教えに基づき、戦争や差別をはじめとする過去の歴史に学びながら、人々の悲しみや現実の苦悩への眼差しを養う事が重要です。私たち念仏者は、立場の違いを認めつつ、誰もが排除されることのない社会をめざしていかなければなりません」と述べられています。▼世界では長く続く戦争や抗争が繰り返され、いのちの尊厳が保たれていないことを残念に思います。▼日本は本年戦後八十年になります。戦争を経験した方は高齢になられその悲しみや悲慘さが伝わり難くなっています。▼以前お寺の研修会で戦争の実体験を語っていただこうと、ご門徒のある方にお願したところ、お断りをされたことがあります。決して怒ることもなく丁寧ではありましたが決して語らないという思いが伝わってきました。▼想像ですが、その方にとっては何十年経っても語りたくないことであり、自分の中にしまっておくことだったのでしよう。今思うと軽率なお願であり失礼なことをしてしまったと思っています。戦争の悲しさや悲しさは頭では理解していても本当のところは分かっているのかもしれないかもしれません。▼仏説無量寿経の一節に「兵戈無用」：人は己の至らなさを自覚し、お互いを尊敬し、よって軍隊(兵)や武器(戈)を持つ必要が無いと説かれています。▼み教えに自らを写し、他者を思いやることを養い、「非戦」の思いを大切にしたいものです。▼暴力は他者を傷つける行為であり言葉や態度という方法で行えます。いのちを尊ぶこと、自らだけでなく自らを取巻くいのちもまた尊ぶこと、「慎み」をもつことを大切にしたいものです。

釋 宏真

ご寺院行事

- 8月 3日(日) 新盆合同法要
- 8月16日(土) 孟蘭盆法要
- 9月23日(火) 秋彼岸法要
- 11月 9日(日) 報恩講法要

前10:00
前10:00
前10:00
前10:00

ご定例法話会

- 7月20日(日) 講師 青木哲隆さん(富山県)
- 8月20日(水)
- 9月20日(土) 講師 西原竜哉さん(千葉県)
- 10月20日(月) 講師 岡橋聖舟さん(京都府)

いずれも毎月20日 夜7:00からです。

令和七年度 年次総会の報告

令和七年度敬念寺門信徒会年次総会を四月二十六日（土）に開催いたしました。

当日は代議員であるお世話人二十七名（委任状三十二名）出席のもと議長に松本宣佳さんを選出、議案審議が行われました。

総会に先立ち、「讃仏偈」で勤行を行いました。

また、お世話人の仕事内容等について「心得三ヶ条」として鷹野原教化副委員長が説明しました。

議 事

一、令和六年度事業報告

一、令和六年度会計報告・監査報告

報 告

一、令和七年度事業計画（案）

一、令和七年度予算（案）

★千原会長による事業報告では、新型コロナウイルス禍の影響で五年間の中止を余儀なくされていた親睦旅行を、本山参拝旅行として再開を図り、また懸案であった報恩講における「お斎」の提供を復活させることが出来、コロナ禍で停滞気味であった門信徒会の事業活動が回復基調となった。

しかし、寺院法要・門信徒会行事における参拝・参加人員の減少傾向が続いており、加えて地区世

話人の欠員増加への対策、次世代人材の発掘・育成等、寺院・門信徒会の重要課題への取組み強化が課題である等が報告されました。

★記載の各号議事を審議の結果、すべて承認され総会の幕が閉じられました。

★最後に、ご住職から挨拶がありました。諸課題の解消・前進に向けて、門信徒会役員やお世話人、門信徒の皆様のご協力を頂きながら、教化伝道をしっかりと進めてまいりたい。と述べられました。



門信徒会年次総会のようす（7.4.26）

門信徒会令和七年度事業計画 (総会資料から略記)

＜少子高齢化の進む社会変化の中、教化事業を始めとする門信徒会事業の再構築に向けた見直しを進めると共に、役員任期最終年度として中長期重要課題に対する検討と方向付けを行い、ポストコロナ時代に適応した寺院活動の推進に向け、住職と一体になった活動・推進を図りたい。＞

◎常任委員会（住職・会長・各委員長・各副委員長・教化団体代表者）

- 1) 定例常任委員会の開催（毎月16日午後7時～9時）
- 2) 寺院営繕保守事業の推進
- 3) 寺院のあるべき姿の（中長期ビジョン）検討と事業推進
 - ・寺院並びに門信徒会の中長期重要課題に対する、住職と連携した対応策の構想検討と新たな活動の推進
 - ・次世代人材発掘&育成・・・初級講座の継続開催等
 - ・地区世話人体制の再構築/世話人欠員地区の補充、会費徴収方法多元化検討等
- 3) 長野教区、松本組、岡谷市&諏訪仏教会など対外的な会合・行事への出席・参加

◎教化委員会

- 1) 親睦・研修旅行
 - ・基本的に「ご住職が全行程同行できる日程」で「2年に1度、本山を参拝する」内容で実施する。今年度は「日帰り旅行」で参加者25名程度の規模で秋ごろ実施する。
- 2) 報恩講法要（11月9日 10:00～14:00）
 - ・コールガンダー、お斎（敬念寺汁付き）を実施し記念品も提供する。
 - ・協賛行事として例年通り「作品展」、「菊花展」を開催する。
- 3) 門信徒会活動の活性化支援
- 4) その他
 - ・「ファミリー参拝」は今年度実施しないが、開催に向けて検討する。
 - ・「夏季連続参拝」（8月1日～5日、7:00～7:30）は開催しない。したがって、夏季の期間だけでも、通年7時から実施している、『朝のおまいり（お朝事・ご晨朝：おあさじ・ごじんじょう）』に参拝していただきたい。

◎財務委員会（7年度予算について）

- 1) 収入・・・会費・護寺協力金の減収傾向は続いていますますが前年並みを計上。お世話人様には大変ご苦勞をおかけしますが、ご協力のほどお願いいたします。
- 2) 支出
 - ・前年度支出を踏襲。通信事務費のみ大幅増額、郵送費大幅UPが主要因です。
 - ・護寺基本金への繰出については、決算時少しでも多くの積増しを検討します。
 - ・護寺基本金からの支出は計画していません。

◎会報組織委員会 敬念寺だより3回発行（6・10・3月）

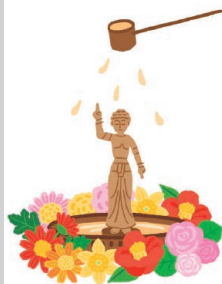
◎婦人部

- 1) 全員活動
 - ・岡谷市仏教会花祭り参加、報恩講前日準備・菊花出品、カレンダー下貼り手伝い、岡谷市仏教婦人連合会学習会、婦人部お楽しみ会
- 2) コールガンダー：4月～3月（8・1月は休み）毎月第2火曜日10:00～12:00 報恩講発表

トピックス

岡谷市仏教会「花祭り」

お釈迦さまの誕生(四月八日)を祝う岡谷市仏教会の花祭り(灌仏会)は、令和五年春から四年ぶりに当寺を会所に再開されていますが、今年は本正寺を会所に五月十八日に行われました。当寺からも参拝するとともに、当日の司会をご住職が担当されました。



婦人部総会開催

婦人部の定期総会が、五月九日日本堂において開催されました。

当日は小原会長以下二十一名が出席して、今年度の活動計画について協議しました。

高齢化等で会員が減少する中であって、「出来る事を楽しく」を目標に活動していくことを確認しました。

総会終了後は、コールガンダーで練習している曲を三曲歌い、親睦を深めました。



婦人部総会のようす (7.5.9)

小菊・ドーム菊
づくりのお誘い!

今年も報恩講(十一月九日)に向けて、境内を彩る小菊・ドーム菊の苗の配布を計画しています。多くの皆様のご協力で境内が一杯になるのが楽しみです。

菊づくりのお仲間「敬香会」の皆さんが植え方、育て方をアドバイスしますので、ぜひご参加ください!

七月六日(日) 日曜参拝終了後
七時四十五分から八時半
本堂下駐車場にて

(当日都合つかない方は、後日残りの苗をお持ちください。)

八月末日までに!

門信徒会費と
護寺協力金のお願い

今年も寺の維持管理の資金、更なる教化活動の振興のため、会費と護寺協力金をお願いに担当のお世話人が近日中にお伺いしますが、ご協力の程お願いします。

○ご依頼額は

年間三千元以上

※以上分が「護寺協力金」となります。

今年も!

—「護寺協力金」について御礼とお願い—

財務基盤強化の一環として平成28年度に「護寺協力金」が新設されています。(今年で10年目となります。) お世話人を通じ(市外の方は郵送書面でのお願いにより)、年度会費3千円徴収依頼の際にご協力をお願いしておりますが、お陰様で皆様のご理解・ご協力により広く定着し、財務健全化につながっております。【昨年度も76万円余のご協力を頂きました。】

(従来からご依頼額は3千円以上となっており、「会費3千円」の以上分の浄財を「護寺協力金」に充てています。)

この浄財は、全額「護寺基本金」に積み立てて、大規模営繕・大規模法要等の費用に備えています。

今年も、担当のお世話人がお伺いした折及び郵送便到着後に、引き続きのご理解とご協力をお願い申し上げます。

敬念寺門信徒会 会長 千原 博幸 財務委員長 西山 周治